

第57回 学生生活実態調査

学生の声と目線から

全国大学生協連 学生委員会 角田咲桜
(学生委員長／茨城大学卒)

◇本報告に関する問い合わせ先

全国大学生生活協同組合連合会
全国学生委員会

nfuca-gakusei@univ.coop

つながる元気、ときめきキャンパス。



学生からの報告のポイント

- ✓ はじめに
- ✓ 大学での授業(学び方)
- ✓ 大学生の暮らし方
- ✓ サークルを中心とした人とのつながり
- ✓ 心身の健康について
- ✓ 就職活動について
- ✓ まとめ

学生にとって

「3つの危機」

暮らしの危機

「学費や生活費の見通しに不安があり、
安定した暮らしを継続できない！」

- ✓ 大学生がアルバイトできず収入が激減している
- ✓ 食生活も乱れ、健康で文化的な生活ができない

学びの危機

「Web授業が大変！」 「実習ができない！」
「進路の見通しが立たない！」

- ✓ 秋以降も対面での授業や実習が困難な状況
- ✓ 進路選択の見通しが立たずに不安が続く

コミュニティの危機

「友達がゼロ」 「孤独を感じている」
「学び合い・励まし合いができない！」

- ✓ 対面で会えない中、コミュニティを作れない...
- ✓ 気軽に相談できる仲間がないストレス

大学生の暮らしや考え方は多様化している

コロナ禍の大学生活は大学や学年によって異なる
「コロナ禍の学生生活」をどう受け止めるかも人それぞれ

今の状況を好機と捉え行動する学生

もう仕方がないと諦めて行動しはじめる学生

学べず、出会えず、1人で悩みを抱え込む学生

暮らしや考え方は多様化している

■ 大学生の暮らしや考え方は多様化している

自由記述欄 に注目し

1人1人の大学生活を見ていきましょう



暮らしや考え方はどのように
多様化しているのか

大学の授業(学び方)について

- 自分の興味のある分野について専門的に学んでいることが何よりも良い点だと思います。コロナ禍でのオンライン授業は割とポジティブに捉えていました(2年/自宅外)
- 自分が興味を持ったことについて、自主的に調べることや事例について考えることが多く、深く学べて有意義に過ごしています。(2年/自宅)
- 大学に通うことで、自分のやりたかった勉強を思う存分することができています。(3年/自宅外)

専門的なことを深く学べること、
興味関心を深められることから
今の大学の学び方に満足する学生の声

大学の授業(学び方)について

- ・オンライン授業では本当に友達が増えない(1年/自宅)
- ・オンラインと対面が併用されています。大学側からオンラインは原則自宅で受講するように言われているため、友達がその通りに帰るが、私は通学時間が長く結局大学でオンライン授業を1人で受けている状態です(2年/自宅)
- ・1年間、県外の自宅からリモート授業を受けていた時情報も全くなくまたいつ引っ越しができるか不安でいっぱいでした。大学のキャンパスで対面で授業を受けたとき感動しました。(2年/自宅外)
- ・勉強がかなり難しいうえに、先生からのフィードバックもないから1人で抱え込みがちです。長いオンライン生活で、人との関わり方を忘れてしまいました。(2年/自宅)
- ・授業のことなどで悩んだ時にすぐに訊ける友達がいない(3年/自宅外)

大学の授業(学び方)について

大学の授業(学び方)について

- ・オンライン授業では本当に友達が増えない(1年/自宅)
- ・オンラインと対面が併用されています。大学側からオンラインは原則自宅で受講するように言われているため、友達がその通りに帰るが、私は通学時間が長く結局大学でオンライン授業を1人で受けている状態です(2年/自宅)
- ・1年間、県外の自宅からリモート授業を受けていた時情報も全くなくまたいつ引っ越しができるか不安でいっぱいでした。大学のキャンパスで対面で授業を受けたとき感動しました。(2年/自宅外)
- ・勉強がかなり難しいうえに、先生からのフィードバックもないから1人で抱え込みがちです。長いオンライン生活で、人との関わり方を忘れてしまいました。(2年/自宅)
- ・授業のことなどで悩んだ時にすぐに訊ける友達がいない(3年/自宅外)

対面授業とオンライン授業の併用による
授業の受け方に困っている声

授業を通して人とつながれない、
人とのつながりの中で学びを深められない困っている声

大学生の暮らし方について

- ・資格取得できたことはよかったです(1年/自宅)
- ・資格勉強にだけは積極的に取り組んでいるが、それ以外は特に目標もなく生きている。(2年/自宅)
- ・自粛期間アルバイトができず、**実習の教材費**を自分で出さないといけなかったの
で、金欠で学費や携帯代が払えなくなってきた。そのため**アルバイトを増やしたら時間がなくなり、授業で必要な資料などを作る時間がなくなり困っている。**
(3年/自宅)
- ・オンライン授業が増え、一人暮らしをしているアパートにいる時間が多くなり、**光熱費や食費が以前より多くかかっている。非常に苦しい。**(4年/自宅外)

この時間を好機と捉え資格取得など勉強に励む学生も
授業料や生活費にあてるためにアルバイトに力を入れる学生も

しかし、時短営業などもあり
アルバイトと学業の両立が難しい状況に

暮らしや考え方が多様化する中で…

オンライン
授業

ハイブリッド
形式

対面授業

大学によっても学年によっても
学び方や暮らし方は1人1人異なる

多様化しているが
多くの学生が抱える悩みも

サークルを中心とした人とのつながり

- 大学に通う機会がほぼ無いに等しいので、同学年の人と知り合う機会がまったくない(1年/自宅)
- サークルに入るタイミングがよく分からなかったです(1年/自宅)
- 人間関係が希薄であることに悩んでいる。また、そのような期間が長く続いたため、今の希薄な人間関係に慣れてしまい、何も感じなくなってきたことにも悩んでいる(2年/自宅外)
- 友達と言える人はいない。なんか名前知ってるな程度(2年/自宅)
- 友達ができない、同じような感じの人がいない気がする(2年/自宅外)
- 趣味の時間に時間をかけたいために、サークルや部活に入らなかったが、入らない人は徹底的に人脈を失いかなり疎外感のある空気にされる(3年/自宅外)
- 自分は人と関わるのが苦手なので、サークルにも所属していなくて、元々希薄な人間関係が消滅してしまい、大学に行く意味があったのかなとか、そもそも自分は大学に進学してよかったのかなと、思い悩むことが増えました。(4年/自宅)

サークルを中心とした人とのつながり

- ・サークルができずに2年生になってしまい、友達がほとんどいない、もう諦めている。ゼミ選びや就活について、気軽に相談したり愚痴を言える友達があまりいない。いつ何をすれば良いのかがつかめない(2年/自宅)
- ・2年生になり、今更サークルに入りづらい。周りでサークルに所属している人が少ない。新歓などを経験したことがないため、サークルというものについていまいち分からない(2年/自宅)
- ・部活サークルに入っていないと、なかなか友達ができない(3年/自宅外)

サークルや部活動でできる“人とのつながり”が希薄化
1年時にはサークル活動ができず、2年時には入るタイミングを見失っている学生もいる。

その学生はどこでつながりをつくれるのか
“直接会う”ことでやっと友達になれるという感覚を持つ

心身の健康について

- ・オンライン授業が多く、体、特に目に負担がかかるので、健康面でも心配です(1年/自宅外)
- ・救いを求めるのが遅れた(1年/自宅外)
- ・精神的につらかった時、カウンセラーを利用できた。大学の学生相談室は無料で手厚いサポートが受けられた。(1年/自宅)
- ・周りの大学生のイメージと現実がかけ離れている。大学生は暇だからバイトしろと脅してくる。心身ともに潰れました。病んでいます。(1年/自宅)
- ・他の大学生と比べて、自分の生活は充実していないなと感じ、いろいろ悩んでしまう。自分はダメだなと思ってしまう(1年/自宅外)
- ・縦の繋がりも横の繋がりもなく、大学で困ったことがあってもどこに相談していいか分からないことが多々あり、困っています。(2年/自宅)
- ・楽しかったはずの大学生活も自身の出不精や引っ込み思案のせいで少しずつ寂しいものになり、今では友人へ連絡をしたり声をかけたりするやり方がわからなくなりました。(4年/自宅外)

心身の健康について

心身の健康について

- ・オンライン授業が多く、体、特に目に負担がかかるので、健康面でも心配です(1年/自宅外)
- ・救いを求めるのが遅れた(1年/自宅外)
- ・精神的につらかった時、カウンセラーを利用できた。大学の学生相談室は無料で手厚いサポートが受けられた。(1年/自宅)
- ・周りの大学生のイメージと現実がかけ離れている。大学生は暇だからバイトしろと脅してくる。心身ともに潰れました。病んでいます。(1年/自宅)
- ・他の大学生と比べて、自分の生活は充実していないと感じ、いろいろ悩んでしまう。自分はダメだなと思ってしまう(1年/自宅外)
- ・縦の繋がりも横の繋がりもなく、大学で困ったことがあってもどこに相談していいか分からないことが多々あり、困っています。(2年/自宅)
- ・楽しかったはずの大学生活も自身の出不精や引っ込み思案のせいで少しずつ寂しいものになり、今では友人へ連絡をしたり声をかけたりするやり方がわからなくなってしまった。(4年/自宅外)

第57回学生生活実態調査について学生の目線から分析する

2022年3月1日全国大学生協連 学生委員会

“できないこと” “つらいこと”を
自分のせいだと抱え込む学生も

気軽に相談できる場所の拡充と周知が必要

就職活動について

- ・コロナの影響でなかなか会うことができず、就職などの情報交換ができない(3年/自宅)
- ・色々やりたいことはあったので就活でのガクチカ質問に何と答えればいいのか悩むとは思っていなかった(3年/自宅)
- ・学生時代に力をいれたことがなく、困っています。アルバイト、学業でのアピールポイントがあまりなく、就職活動に困っています(3年/自宅)
- ・この先社会に出た時に社会のために働ける人間になれるのかどうか不安になる(3年/自宅外)

自分の周りの学生は今何をしているか
情報を掴みにくいことによる不安の声
ガクチカに書くことがなく不安の声

来年以降

より一層就職活動への不安が高まるのではないか

それぞれの“大学生活”と“困りごと”がある



大学に入学してよかったこと

- 尊敬できる先生や先輩、そして仲良くしてくれる素敵な友人に恵まれ、幸せです。自分次第で今まで経験したことのないことをたくさん経験できるのでとても自身の成長を感じられます。(2年/自宅)
- 昨年度は3回しか大学に行くことができず、友達がいない中でTwitter・LINEで繋がっている学生同士で助け合っていました。今年度は対面授業も少し増え、課外活動などでの繋がりも増えてきたので、ようやく大学生らしさを感じることができています(2年/自宅)
- 面白い、凄いい、そんな人がいる(2年/自宅外)
- 2年の秋学期から始まったゼミによって、友達が増えました。それまで無彩色だった私のキャンパスライフが、少しずつ彩をましています。期待で胸を膨らませております。二度と事態が悪化しないことを祈るばかりです。(3年/自宅)
- 制限があるなかでいかに工夫できるかを考えることが大切だと学ぶ機会にはなったと思う。(3年/自宅)
- 色々な地方から色々な思考を持つ学生とたくさん出会えたので新しい世界を知るという点で大学に入学してよかったと思いました。また、大学でサークルに入って仲のいい仲間と出会い楽しい思い出を作れたのも良かったと思いました。(4年/自宅)

大学に入学して困ったこと悩んだこと

- ・コロナでリモートばかりで全く大学生活の実感がない(1年/自宅)
- ・対面授業も一つもないので今年是一回も大学に足を踏み入れていません。入った理由を見いだせないので、最悪な気分です。(2年/自宅外)
- ・体育の授業以外は全てオンライン形式の授業なのでまともに学校に行って授業を受けたことがなく、このまま就活や卒業に迎えることに不安があります。(2年/自宅)
- ・昨年1年間は友達もできず、ただひたすら与えられる課題を1人でこなしてだけで本当に精神的に辛かった。現在は対面授業も増え、友達もできやっとならなれた感じがします。もっと身近にこのような大学生生活の愚痴を吐き出せる環境にしてほしい(2年生/自宅外)
- ・成長するためには様々な場所へと飛び込まなければいけないが、一歩目を踏み出すのがとてもつらい(3年/自宅)

大学生の「一歩」を応援したい！

学び、人と出会い、多くの価値観に触れること で大学生を実感

大学の授業(学び方)について

- ・自分の興味のある分野について専門的に学べることが何よりも良い点だと思います。コロナ禍でのオンライン授業は割とポジティブに捉えています。(2年/自宅外)
- ・自分が興味を持ったことについて、自主的に調べることや事例について考えることが多く、深く学べて有意義に過ごしています。(2年/自宅)
- ・大学に通うことで、自分のやりたかった勉強を思う存分することができています。(3年/自宅外)

専門的なことを深く学ぶこと、
興味関心を深められることから
今の大学の学び方に満足する学生の声

第57回学生生活実態調査について学生の目線から分析する

2022年3月1日全国大学生協連 学生委員会

大学生の暮らし方について

- ・資格取得できたことはよかったです(1年/自宅)
- ・資格勉強にだけは積極的に取り組んでいるが、それ以外は特に目標もなく生きている。(2年/自宅)
- ・自費期間アルバイトができます。実際の教材費を自分で出さないと行けなかったのが、金欠で学費や携帯代が払えなくなってきた。そのためアルバイトを増やしたら時間がなくなり、授業に必要な資料などを作る時間がなくなり困っている。(3年/自宅)
- ・オンライン授業が増え、一人暮らしをしているアパートにいる時間が多くなり、光熱費や食費が以前より多くかかっている。非常に苦しい。(4年/自宅外)

この時間を好機と捉え資格取得など勉強に励む学生も
授業料や生活費にあてるためにアルバイトに力を入れる学生も

しかし、時短営業などもあり
アルバイトと学業の両立が難しい状況に

第57回学生生活実態調査について学生の目線から分析する

2022年3月1日全国大学生協連 学生委員会

サークルを中心とした人とのつながり

- ・サークルができずに2年生になってしまい、友達がほとんどいない、もう諦めている。ゼミ遊びや就活について、気軽に相談したり愚痴を言える友達がありません。いつ何をすれば良いのかがつかめない(2年/自宅)
- ・2年生になり、今更サークルに入りづらい。周りでサークルに所属している人が少ない。新歓などを経験したことがないため、サークルというものについていまいち分からない(2年/自宅)
- ・部活サークルに入っていないと、なかなか友達ができない(3年/自宅外)

サークルや部活動でできる“人とのつながり”が希薄化
1年時にはサークル活動ができず、2年時には入るタイミングを
見失っている学生もいる。

その学生はどこでつながりをつくれるのか
“直接会う”ことでやっと友達になれるという感覚を持つ

第57回学生生活実態調査について学生の目線から分析する

2022年3月1日全国大学生協連 学生委員会

心身の健康について

- ・オンライン授業が多く、体、特に目に負担がかかるので、健康面でも心配です(1年/自宅外)
- ・救いを求めるのが遅れた(1年/自宅外)
- ・精神的に落ちた時、カウンセラーを利用できた。大学の学生相談室は無料で手厚いサポートが受けられた。(1年/自宅)
- ・周りの大学生のイメージと現実がかけ離れている。大学生は暇だからバイトしろと脅してくる。心身ともに潰れました。病んでいます。(1年/自宅)
- ・他の大学生と比べて、自分の生活は充実していないと感じ、いろいろ悩んでしまう。自分はダメだと思ってしまう(1年/自宅外)
- ・縦の繋がりがも横の繋がりがもなく、大学で困ったことがあってもどこに相談していいかわからないことが多い。困っています。(2年/自宅)
- ・楽しかったはずの大学生活も自身の出不精や引っ込み思案のせいで少しずつ寂しいものになり、今では友人へ連絡をしたり声をかけたりするやり方がわからなくなっていました。(4年/自宅外)

第57回学生生活実態調査について学生の目線から分析する

2022年3月1日全国大学生協連 学生委員会

しかし1人1人の大学生活は異なり
「コロナ禍の大学生活」の受け止めも異なる

学べず、出会えず、一人で悩みを抱え込む学生も
一歩を踏み出せるように

大学生協でも人と出会う機会を！

全国の多くの大学生協のある大学で
「新入生歓迎企画」をオンラインでも実施

これからの4年間をともに学び・励まし合う
学生と友人になる機会

在校生同士の“つながり”をつくる取り組みも

大学生協でも人と出会う機会を！



龍谷大学親和会（保護者会）学生応援企画

「百縁夕食」開催

龍谷大学親和会は、在学生の保護者で組織される保護者会です。全国に先駆けて1992年に結成され、学生の皆さんが有意義な学生生活を送れるよう様々な支援を行っています。

この度、コロナ禍で帰省も皆さんを応援したいという保護者の思いから、龍谷大学生協同組合、Café Ryukokuと協力のもと、1食100円で栄養バランスのとれた夕食を提供する「百縁夕食」を開催することとなりました。

コロナ禍で経済的支援が必要となり暮らしの学生の皆さんはもちろん、試験勉強や課外活動等で遅くまで学内で頑張っておられる皆さんも、是非ご利用ください。

また、皆さんが安心して食事できるよう、龍谷大学親和会から、全キャンパスの食堂やCafeに、高性能空気清浄機を設置いただいております。

日時・場所

日程：2021年12月6日(月)～24日(金)
2022年1月6日(水)～19日(水)

時間：17:15～19:00

※キャンパス・店舗によって異なります。

場所：(京草) 22号館地下食堂・
（滋賀）Café Ryukoku &
（大宮）清和館食堂
（津田）青志館食堂

費用：1食100円(税込)

共催：龍谷大学協 & 龍谷大学学生会

問い合わせ：龍谷大学総合事務局事務局 Tel: 075-645-7888 / 龍谷大学生協同組合 Tel: 075-642-0213

TOKAI BLOCK NEWS

全国大学生協連 東京ブロック
執筆者：坪あゆみ
協力：愛知教育大学生協
発行日：2021年01月27日

愛知教育大学生協 Meet&Greet「上級生の不安解消」

第013号

取り組み概要

日時：2020年12月9日
場所：Microsoft Teams
参加者数や組合員の反応！参加した3年生からは不安解消が出来たという声がありました！

背景や概要：教育大学は教員採用試験や公務員試験を受ける学生が多いという背景があった。試験へ不安を抱える学生が不安解消できるようにという思いからスタートした。

01 上級生の不安を解消

不安を抱える3年生へ試験に合格した4年生からのアドバイス！

就職活動や試験への知識がないことなどの時期にどんな活動すればよいのわからず不安だと感じる学生は多いはず。愛知教育大学では毎年試験や就職活動を終えた4年生の先輩方が不安を抱える3年生へアドバイスをっていました！

02 多くの人ととの協働を実現！

生協の職員だけでなく学園長先生やキャリア支援課の先生方も3年生へアドバイスを！

試験や就職活動を終えた4年生の先輩だけでなく、キャリア支援課の先生方や学園長先生、生協の職員も一貫して3年生の不安解消のためのアドバイスをっていました！

03 オンラインでも伝えたい思い

先輩からの試験合格おめでとうVTRを作成！

新型コロナウイルスの影響で在校生の先輩方に直接お話をした、おめでとうございますと書けない状況でもよいので、愛知教育大学では先輩方におめでとうVTRを作成し上映していました！このVTRを見た4年生はとてうれしそうでした！

UNIV. C O - O P

ご質問やニュースでわからないことやお問い合わせは、ご連絡ください！
ブロック学生事務局【坪あゆみ】
Tel: 075-642-0213

TOKYO BLOCK NEWS

あくていぶ

全国大学生協連 東京ブロック
執筆者：鈴木梨花
協力：手塚宮大学生協
発行日：2022年2月28日

宇都宮大学生協 推薦生交流会～友だち作りに全集中～

第15号 (通算1720号)

取り組み概要

日時：2022年2月12日(土)10:00～15:10
場所：オンライン会議ツールZoom
参加者数：74人
出席：40、午後：70、1日参加：36

背景や概要：ゲームや雑談などをグループごとに行うことで参加者同士が交流し、友達作りの機会を設けた。

01 目的に沿った企画内容

友達を作ったその先も

- ・大学の不安を少しでも解消させ、大学生活に希望を持ってもらう
- ・新たな出会いを通して、交流を促進まで進んでもらう
- ・2022年春の交流会を盛り上げた。当日は昼ごとのLINEグループも作り、交流会が終わった後も関わりが持てるように学生委員会が新入生同士の橋渡し役になりました。また、推薦生ならではの強みにも見え、不安解消で済んだ。目的を達成して知りあふことは大事ですね！

02 学部の中も外もこんにちは

午前と午後で顔を出そう

午前の部は学部をバラバラにして色んな学部の人と交流を、お昼休憩をはさんで午後の部は学部ごとに集まりをしました。違う学部の人とも交流することで「大学」が身近に感じられます。

また、共通の課題などで会うこともあるので、今うちから授業で協力して課題を解決できるように仲間を作ることにつながり、これからの大学生活も安心できますね。

03 丁寧な対応で不安解消

当たり前だと思わず丁寧に説明

宇都宮大学生協のHPで交流会に使用する会議ツールZoomの使い方を紹介しました。学生委員の大学には慣れたツールになってしまいましたが、新入生には初めて使う人も多いため、事前に使い方を学ぶ機会を設けて案内できるように参加者も楽しんで交流会に参加できました。

ぜひこちらもよりご活用ください。

UNIV. C O - O P

ご質問やあくていぶでわからないことやお問い合わせは、ご連絡ください！
ブロック学生事務局【鈴木 梨花】
Tel: 028-252-1111

今後も大学生のよりよい生活を考え続けます

これからの大学生生活を考える研究会

多様な学生に寄り添い続けるために
大学生の生活の現状、日常、困りごと等を
様々な人と様々な視点から深めます。

大学生

大学
教員

大学生協
職員

メディア

などの方々と

授業

キャンパス
ライフ

心身の
健康

就職活動

などについて

第57回 学生生活実態調査

学生の声と目線から

全国大学生協連 学生委員会 角田咲桜
(学生委員長／茨城大学卒)

◇本報告に関する問い合わせ先

全国大学生生活協同組合連合会
全国学生委員会

nfuca-gakusei@univ.coop

つながる元気、ときめきキャンパス。

